

5年—Unit 1

単元名 Hello, everyone.

アルファベット・自己紹介

1. 単元目標

- ・好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、読む(発音する)ことができる。(知識及び技能)
- ・自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。(思考力, 判断力, 表現力等)
- ・他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。(学びに向かう力, 人間性等)

2. 言語材料 (下線は新出表現)

- Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. My name is (Kosei). How do you spell your name? K-o-s-e-i. I [like / don't like] (blue). What (sport) do you like? I like (soccer) very much. I want (a new ball).
  - nice, to, meet, spell, new, very, much, class, badminton, chocolate, lettuce, name, animal, watch, think
- [既出] 挨拶・自己紹介, 活字体 (大文字, 小文字), 色, 飲食物, 果物・野菜, 動物, 数, スポーツ

3. 該当する学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができるようにする。
読むこと	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。
話すこと (発表)	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。

4. 単元計画 (8時間)

時	目標 (◆) と主な活動 (【 】, ○) 【 】 = 誌面化されている活動	◎評価の観点<方法>
1	<p>◆好きなものを聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk : 自己紹介</p> <p>○歌 : Hello Song (4年生 Unit 2)</p> <p>○チャンツ 4年生 Hello.</p> <p>○挨拶をし合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を歩いて回り、ペアになり名前を言って挨拶をする。</li> </ul> <p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の自己紹介を聞いて、登場人物とイラストを線で結ぶ。</li> </ul> <p>【Let's Play 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の好きなものを予想して、What ~ do you like? と指導者に尋ね、自分の予想が当たっているかを確認する。</li> </ul> <p>○簡単な自己紹介をしよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動とは違うペアで挨拶をし、名前、好きなもの言い合う。</li> </ul> <p>○チャンツ : What do you like? (オプション 3年 Unit 5)</p>	◎好きなものを聞いたり言ったりすることができる。〈行動観察〉
2	<p>◆何が好きか尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk: 名前のスペル</p> <p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再度聞き、自身の名札を見ながらスペルを言う。</li> </ul> <p>○ミッシング・ゲーム(文字)</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 後半</p>	

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を視聴し分かったことを発表する。</li> </ul> <p>○チャンツ What food do you like the best?</p> <p>【Let's Listen 2】 p.5 音声聞いて、□にだれが何を好きかを記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・好きなものについての対話を聞いて、誰が何を好きかを聞き取る。</li> </ul> <p>【Let's Play 2】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアになり、相手に好きなものが何かを尋ね、枠内に記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎好きなものを聞き取ることができる。〈行動観察・記述分析〉</li> <li>◎何が好きか尋ねたり答えたりすることができる。〈行動観察・記述分析〉</li> </ul>
3	<p>◆何が好きか尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk: 好きな食べ物</p> <p>【Let's Play 3】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に好きな色、食べ物、TV番組などについて尋ね、クラスで一番人気の色、食べ物、TV番組などを予想する。</li> </ul> <p>○歌: ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Let's Read and Write</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大文字を読む。(名称)</li> </ul> <p>○名札を作ろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とやり取りして、名札に必要な文字カードを集める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎何が好きか尋ねたり答えたりすることができる。〈行動観察・記述分析〉</li> </ul>
4	<p>◆何が欲しいか尋ねたり答えたりできる。</p> <p>○Small Talk: 好きなスポーツ</p> <p>【Let's Listen 3】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の好きなものや欲しいものについての会話を聞いて、聞き取ったことを枠に記入する。</li> </ul> <p>【Let's Watch and Think 1】 前半</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像を視聴し分かったことを発表する。</li> </ul> <p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○ラッキー・カード・ゲーム</p> <p>○Let's Read and Write: 名前を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時に集めた大文字カードを参考に、自分の名前を書き、読む。(パスポートの表紙)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎欲しいものを聞き取っている。〈行動観察・誌面分析〉</li> <li>◎何が欲しいか尋ねたり答えたりできる。〈行動観察〉</li> </ul>
5	<p>◆何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。</p> <p>○何が欲しいか、持っているものについて尋ねられ答える。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の会話を聞いて、一人の好きなこと、欲しいものなど、分かったことを枠の中を書く。</li> </ul> <p>【Let's Play 4】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に欲しいものを尋ね、誌面表に記入する。</li> </ul> <p>○歌: ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタル教材を活用したアルファベットクイズに答える。</li> </ul> <p>○パスポートを見つけよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とやり取りをして自分のパスポートを見つける。</li> </ul> <p>【STORY TIME】 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・絵本の読み聞かせを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。〈行動観察・誌面分析〉◎欲しいものを聞き取っている。</li> <li>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音できる。〈行動観察〉</li> </ul>

<p>6</p>	<p>◆会話を聞いて、欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。</p> <p>○Small Talk: 欲しい物 【Let's Watch and Think 2】 p.7 ・前時の活動に続けて、二人の会話を聞いて、もう一人の好きなこと、欲しいもの、持っているものなど、分かったことを枠の中に書く。</p> <p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters ・デジタル教材を活用したアルファベットクイズに答える。</p> <p>○誰でしょうクイズ ・やり取りをして、相手が持っている名札が誰のものかを当てる。</p> <p>【STORY TIME】 ② ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。〈行動観察・誌面分析〉</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音できる。〈行動観察〉</p>
<p>7</p>	<p>◆自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや、欲しいものなどを伝え合ったりする。</p> <p>○指導者のスピーチを聞く。</p> <p>【Activity】 p.8 ・ペアで自己紹介をし合い、好きなもの、持っているもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりする。また、次時の自己紹介プレゼンに向けて、アドバイスをし合う。</p> <p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○身の回りの大文字探し</p> <p>○Sounds and Letters ・ANZ ゲームをする。</p> <p>【STORY TIME】 ③ ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎自己紹介を聞いて、好きなものや欲しいものなどを聞いている。〈行動観察〉</p> <p>◎好きなものや欲しいものなどを伝えている。〈行動観察〉</p>
<p>8</p>	<p>◆他者に配慮しながら自身の名前や好きなものや、欲しいものなどを含めて簡単な自己紹介をしようとする。</p> <p>【Activity】 p.8 「自己しょうかいをしよう。」 ・みんなの前で発表する。</p> <p>○Sounds and Letters ・I spy ゲームをする。</p> <p>【STORY TIME】 ④ ・読み聞かせを聞く。</p>	<p>◎他者に配慮しながら自己紹介しようとしている。〈発表観察〉</p> <p>◎文字と音については単元を通して適宜評価する。大文字(活字体)とその名称が分かる。〈行動観察〉</p>

Unit 1—Lesson 1 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 1/8 時間
目 標 好きなものを聞いたり言ったりすることができる。
準 備 デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>Good morning/afternoon ○○-sensei.</p> <p>I'm fine/good/hungry/sleepy.</p> <p>How are you?</p> <p>○Small Talk : 自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をし, 個別に数名の児童に挨拶をする。</li> <li>・初めての外国語科の授業にあたり, 好きなものやこと, 嫌いなものやことなどを含めて短い自己紹介をする。その際に, 一方的に話さず, 質問をしながら自己紹介を進め, 児童を自己紹介に巻き込むようにする。</li> </ul>	<p>様子を表す絵カードなど</p>
	<p>Small Talk:自己紹介 (例)</p> <p>Hello, everyone. My name is Tanaka Yumi. I live in Sakura-cho. I like badminton very much.</p> <p>Do you like badminton? I have a cat. Her name is Taiga. Very cute. I like cats very much.</p> <p>Do you like cats?</p>		
	<p>○歌 : Hello Song (4年 Unit 2)</p> <p>○挨拶をし合おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教室内を歩いて回り, 出会った友達とペアになり名前を言って挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に歌う。</li> <li>・児童と一緒に活動する。</li> </ul>	<p>デジタル教材</p>
10分	<p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の自己紹介を聞いて, 誌面にある登場人物とイラストを線で結ぶ。</li> <li>・誌面の登場人物の名前の文字を指導者と一緒に発音する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童はすでに二年間, 計 70 時間の外国語活動を経験しており, 簡単な自己紹介を聞き取ることに難しさを感じることはないと思われるが, 児童の実態に合わせて途中で音声を止めて, 自己紹介の内容を確認したりするとよい。</li> <li>・音声では, 自己紹介で名前のスペルを紹介している。四人の登場人物の自己紹介を聞き取った後, 誌面で四人の名前を見ながら, 児童と文字の読み方を確認し読む。</li> </ul>	<p>デジタル教材</p>

10分	<p>【Let's Play 1】 p.4</p> <p>What ~ do you like? と指導者に尋ね、誰の予想が当たっているかを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初に指導者の好きなものをカテゴリーごとに予想し書き込むように指示する。</li> <li>・全員で4つの質問をするよう促す。</li> <li>・答えを言い、予想が当たったかどうか確認する。</li> </ul> <p>◎好きなものを聞いたり言ったりすることができる。〈行動観察〉</p>	児童用テキスト
5分	<p>○自己紹介をしよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動とは違うペアで挨拶をし、名前、好きなものを言い合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動を受けて、児童に4つのカテゴリーについて好きなものを尋ね、この活動につなげる。</li> </ul>	児童用テキスト
3分	<p>○チャンツ：What do you like? (4年生 Unit 5)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャンツを言うことで、慣れ親しんだ表現を思い出せるようにする。</li> </ul>	デジタル教材
2分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りをする。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

Unit 1—Lesson 2 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 2/8 時間

目 標 何が好きか尋ねたり答えたりできる。

準 備 教師用カード (大文字), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> </ul> <p>○Small Talk: 名前のスペル</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶し, 個別に数名の児童にあいさつする。</li> <li>本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</li> <li>自身の名前をローマ字で黒板に書き, 文字を読む。その際に, 児童も一緒に読むように促す。代表児童数名の名前も同様にして一緒に読み, 歌につなげる。</li> </ul>	
<p>Small Talk : 名前のスペル (例)</p> <p>Hello, everyone. This is my name. (黒板にローマ字で名前を書きながら) T-A-N-A-K-A Y-U-M-I.</p> <p>My name is Tanaka Yumi. T-A-N-A-K-A, Tanaka is my family name. Y-U-M-I, Yumi is my first name.</p> <p>Look. this is Hana. H-A-N-A, Hana san. Look, this is Aoi. A-O-I, Aoi san. How do you spell your name?</p>			
	○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌う。</li> </ul>	デジタル教材
5 分	<p>【Let's Listen 1】 p.4</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度聞き, 自身の名札を見ながらスペルを言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>誌面を見ながら音声を再度聞かせる。聞き終わった後, 登場人物の名前の文字をみんなで読む。代表児童数名の名前の文字を提示し, みんなで一緒に読み, 次の活動につなげる。</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト
5 分	<p>○ミッシング・ゲーム(文字)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>なくなったカードの文字を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>黒板に文字カード 5 種類を貼り, 児童とその読み方を確認する。取り上げる文字は, 1 回目は, 児童の名前に多い文字, 2 回目は, 児童の名前に少ない文字とする。</li> <li>児童に目をつぶらせ, その間に 1, 2 枚カードを隠す。児童になくなったカードの文字が何かを尋ねる。</li> </ul>	教師用大文字カード
10 分 半	<p>【Let's Watch and Think 1】 p.2, 3 後半</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像を視聴し分かったことを発表する。</li> <li>身の回りで外国語が使われて場面を想起する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に映像資料を視聴しながら聞き取れたことや繰り返し出てきた表現などについて確認する。</li> <li>児童が教科として外国語を学ぶ意味をともに考え, 今後の学習への見通しをもてるようにする。</li> <li>児童の実態により, 何度か止めて内容を確認するとよい。</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>英語が使われている様々な場面 映像資料スクリプト</p> <p>観光案内</p> <p>TC: Please look at the tower in front. It's Tokyo Skytree Tower.</p> <p>It was built in 2012 and it is 634m high.</p> <p>Tourists: Uh-uh (写真を撮っている)</p> <p>会議</p> <p>MC: Good morning, ladies and gentlemen. Please take a look at your handout.</p> <p>Today's agenda is .....</p>			

<p>(前頁の続き) 英語が使われている様々な場面 映像資料スクリプト</p> <p>タクシー</p> <p>Where would you like to go? Asakusa? All right. It takes about 15 min. from here.</p> <p>学校 (英語授業)</p> <p>T: Good morning, class.</p> <p>Ss: Good morning.</p> <p>T: How are you today? Let's start our English class. First, let's chant.</p> <p>駅のホーム</p> <p>Conductor: Please go to the platform number 3. Take the yellow train. Midori station is the third stop from here.</p> <p>教室</p> <p>S1: Hi, Ken.</p> <p>S2: Hello, Juan. Hi, Maria.</p> <p>S3: Good morning. Let's go to the ground and play dodgeball.</p> <p>S1S2: OK. Let's go.</p> <p>コンビニ</p> <p>R: Thank you very much. It's 700 yen</p> <p>C: Here you are.</p> <p>R: Here is 300 yen for your change. Thanks again.</p> <p>Tourist: Thanks.</p>			
3分	○チャンツ What food do you like the best?	・児童と一緒に言う。	デジタル教材 児童用テキスト
5分	【Let's Listen 2】 p.5 ・音声聞いて、登場人物の名前とイラストを結び付け、□に誰が何を好きかを記入する。	・全体を聞いて、一度みんなで聞き取れたことを確認する。最初は名前と人物を結び付け、次に好きなものをまずは1つでいいので聞き取れるように、などと指示を与え、段階を踏むことで無理のない聞き取り活動にする。 ◎好きなものを聞き取ることができる。 〈行動観察・記述分析〉	デジタル教材
5分	【Let's Play 2】 p.4 ・ペアになり、相手に好きなものが何かを尋ね、枠内に記入する。 ・4つのカテゴリーに自分の答えを書き込む。 ・隣の児童とペア、あるいはクラス全体で質問を交互にし、相手の答えを書き込む。 A: Hello! What color do you like? B: I like blue. What color do you like? A: I like blue, too.	・言いよんでいる児童のそばに行き、一緒に尋ねたり答えたりして支援する。 ◎何が好きか尋ねたり答えたりすることができる。 〈行動観察・記述分析〉	デジタル教材 児童用テキスト
2分	・本時の活動を振り返る。 ・挨拶をする。	・本時のねらいに照らして児童を称賛する。 ・挨拶をする。	振り返りカード

Unit 1—Lesson 3 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 3/8 時間
目 標 何が好きか尋ねたり答えたりできる。
準 備 スモール・トークに使う実物, 写真など, 教師用絵カード (アルファベット大文字), 児童用絵カード (大文字), ワークシート (パスポート), デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
15 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>○Small Talk: 好きな食べ物</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶し, 個別に数名の児童にあいさつする。</li> <li>・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</li> <li>・好きな食べ物について話す。</li> <li>・一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにし, 次の活動につなげる。</li> </ul>	写真などスモール・トークの内容を類推できるための具体物
<p>Small Talk : 好きな食べ物 (例)</p> <p>Hello. What food do you like? I like curry and rice very much. (写真を見せながら) Do you like curry and rice? (手をあげてみせ, 挙手させる) I cook curry. I am good at cooking it. My chicken curry is very special. What do you have in your curry? I have onions, carrots, potatoes and chicken. I have tomatoes and apples, too. It's delicious. Do you like chicken curry?</p>			
	<p>【Let's Play 3】 p.5</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に好きな色, 食べ物, TV 番組などについて尋ね, クラスで一番人気の色, 食べ物, TV 番組などを予想する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まず, 指導者が数名の代表児童に色, 食べ物, TV 番組などについての好みを尋ね, 児童に尋ね方答え方を想起させるようにする。代表児童に指導者と一緒に尋ねるよう促してもよい。</li> <li>◎何が好きか尋ねたり答えたりすることができる。</li> <li>&lt;行動観察・記述分析&gt;</li> </ul>	児童用テキスト
2 分	○歌 ABC(abc) Song (3 年 Unit 6, 4 年 Unit 6)	・黒板に大文字カードを貼りながら, 児童と一緒に歌う。	デジタル教材 大文字カード
3 分	○Let's Read and Write ・大文字を読む。(名称)	・前活動で貼った大文字カードを, アトランダムに並べ替え, 児童と一緒に文字を発音する。	大文字カード
20 分	○名札を作ろう。 ・各児童は事前に, テキスト巻末大文字カードを切り離しておく。 ・友達とやり取りして, 名札に必要な	・学級を 2 グループに分ける。1 グループは, 大文字カードを持つ。もう 1 グループの各児童は, 1 グループの各児童のところに自由に行く。児童どうしで, What do you want? I want 'Acard',	児童用巻末大文字カード

	<p>文字カードを集める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・誰も持っていない場合は、指導者とやり取りをして文字カードをもらう。</li> </ul>	<p>please.とやり取りをして、自分の名札を作るのに必要な文字カードを集める。</p>	
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の振り返りをする。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	

Unit 1—Lesson 4 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介	4/8 時間
目 標 何が欲しいか尋ねたり答えたりできる。	
準 備 スモール・トークに使う実物, 写真など, 教師用絵カード (アルファベット大文字), 児童用絵カード (大文字), ワークシート (パスポート), デジタル教材, 振り返りカード	

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
12 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>挨拶をする。</li> </ul> <p>○Small Talk: <b>好きなスポーツ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者の話を, 反応を示したり, 質問について考えたり答えたりしながら聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体にあいさつし, 個別に数名の児童にあいさつする。</li> <li>本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</li> <li>好きなスポーツについて話す。</li> <li>一方的に話すのではなく, 児童を会話に巻き込みながら話すようにする。</li> </ul>	写真などスモール・トークの内容を類推できるための具体物
	<p>Small Talk : 好きなスポーツ (例)</p> <p>Hello. What sport do you like? I like tennis very much. I like Nishikori Kei. (写真を見せながら) I like baseball too. (野球が好きだと思われる児童を指名し) Do you like baseball? Who likes soccer? (手をあげてみせ, 挙手させる) I watch tennis tournaments on TV. I watch baseball games on TV, too. Hanshin Tigers is my favorite team. I sometimes play baseball (野球をするジェスチャーを見せながら) on weekends.</p>		
	<p>【Let's Listen 3】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登場人物の好きなものや欲しいものについての会話を聞いて, 聞き取れたことを枠に記入する。</li> </ul>	◎欲しいものを聞き取っている。<行動観察・誌面分析>	デジタル教材 児童用テキスト
10 分	<p>【Let's Watch and Think 1】 前半</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>映像を視聴し分かったことを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人ずつの映像を見せ, どのような語が聞こえたか, それは誰かなど児童に発表させる。再度見せて内容を確認する。一通り見せた後, もう一度全体を通して視聴する。</li> <li>◎何が欲しいか尋ねたり答えたりできる。&lt;行動観察&gt;</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト
<p>世界で活躍する日本人 映像資料スクリプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>Tani Mami</u> is a triathlete now. She is a Paralympian. She lost her left leg when she was nineteen. Then she joined the Paralympic Games in Athenes, Beijing, and London. She was an athlete of long jump, Hashirihabatobi in Japanese.</li> <li>・ <u>Yamanaka Shinya</u> is a professor of Kyoto University. He received the Nobel Prize in 2012. He researches on iPS cells. (attracts many doctors and researchers of the world. )</li> <li>・ <u>Nagatomo Yuto</u> is a pro-soccer player. He is from Ehime. He played for FC Tokyo from the year 2007 to 2011. Now he is playing for Serie A in Italy. He is very popular in Italy and Japan.</li> </ul>			

	<p>(前頁の続き) 世界で活躍する日本人 映像資料スクリプト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <u>Ishikawa Kasumi</u> is a table tennis player. She won a bronze medal in Rio de Janeiro Olympics. Her father, mother, and younger sister play table tennis, too. Her mother, Kumi Ishikawa, is her coach now.</li> <li>• <u>Kawasumi Nahomi</u> is a pro-soccer player. She played as midfielder for Nadeshiko Japan. Now she is playing for Seattle Reign FC in the United States of America.</li> </ul>		
10分	<p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○ラッキー・カード・ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• グループでゲームをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 児童と一緒に歌う。</li> <li>• ゲームをすることを告げ, 1 グループを例に実際にやらせてみて, 進め方を理解させる。</li> </ul>	<p>デジタル教材</p> <p>大文字カード</p> <p>児童用大文字カード</p>
<p><b>進め方</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 4～6人で1グループで円になり, 児童用巻末大文字カードを各自の前に並べる。順が一番の児童を決め, 一番目の児童が右隣の児童に What do you want? と尋ねる。右隣の児童は, 相手の前にある文字カードの中から欲しい文字カードを1枚, I want ～, please. と言ってもらい, 自分の前の文字カードとともに並べる。右隣の児童のさらに右隣の児童に What do you want? と尋ね, これを指導者の合図があるまで繰り返す。</li> <li>• 時間がきたら指導者は, Please stop. と言ってゲームを止め, あらかじめ決めていたラッキー文字を発表する。</li> <li>• ラッキー文字のカードを持っている児童が勝ちとなる。</li> </ul>			
10分	<p>○Let's Read and Write : 名前を書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 前時に集めた大文字カードやローマ字表を参考に, 自分の名前を書き, 読む。(パスポートの表紙)</li> <li>• ペアになり, How do you spell your name? と尋ね, 自分の名前の文字を読む。</li> <li>• 書き終わったら, 大文字カードを持ち主に返す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• パスポートを配布し, 前時に集めた大文字カードやテキスト p.80 のローマ字表を参照の上, 丁寧に自分の名前をパスポート表紙に書くよう指示する。</li> <li>• “How do you spell your name?” と数名の児童にそのスペルを問いかける。</li> <li>• 日本語では知っている友達の名前を英語で書くようになるのか, という興味を高めながら活動を始める。</li> <li>• 最初は指導者が “How do you spell your name?” という問いかけを適宜行い, やり取りを見せ, 児童にペアになり自分の名前を見せながら友達にそのスペルも伝えるよう指示する。</li> </ul>	<p>パスポート</p> <p>児童用テキスト</p> <p>児童用大文字カード</p>
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本時の活動を振り返る。</li> <li>• 挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 本時のねらいに照らして称賛する。</li> <li>• 挨拶をする。</li> </ul>	<p>振り返りカード</p>

Unit 1—Lesson 5 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 5/8 時間

目 標 何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。

準 備 ワークシート、教師用大文字カード、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10 分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>○質問に答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者から、何が欲しいか、持っているものについて尋ねられ答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をする。</li> <li>・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</li> <li>・次の活動につなげるために、What do you want for your birthday? Do you have ~? 等と児童に尋ね、答え方に慣れさせる。</li> </ul>	
	<p>【Let's Watch and Think 2】 p.7</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・二人の会話を聞いて、一人の好きなこと、欲しいものなど、分かったことを枠の中に書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子を見ながら、聞き取りにくそうな場合には繰り返し聞かせるなどする。</li> <li>・会話形式で好きなこと、持っているもの、欲しいものを尋ねたり答えたりする映像資料を視聴する。ここでは動詞の like, have, want が混在するがその意味の違いの理解を早急に求めない。まず具体的なものの情報を聞き取り、場面からの気付きを促す。答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。</li> <li>・次時にも再び視聴するので、ここでは二人のやり取りの中で一方だけ聞き取れればよいと指示をする。</li> </ul>	デジタル教材 児童用テキスト
15 分	<p>【Let's Play 4】 p.6</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に欲しいものを尋ね誌面の表に記入する。</li> <li>・自分が今一番欲しいものを考え、答える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういった状況で自分の欲しいものを伝え合う気持ちになるか、児童の実態にあった場面を想像させるとよい。(誕生日、今実際に必要としている身の回りのものなど)</li> <li>・インタビューする人数を競うのではなく相手の思いを受け止めることが大切であることを伝える。</li> <li>・インタビューから分かったことをみんなで共有する。</li> </ul> <p>◎何が欲しいかを尋ねたり答えたりできる。〈行動観察・誌面分析〉◎欲しいものを聞き取っている。</p>	デジタル教材 児童用テキスト

5分	<p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <p>○Sounds and Letters</p> <p>・デジタル教材を活用した大文字クイズに答える。</p>	<p>・児童と一緒に歌う。文字の色に注目して歌うよう言う。</p> <p>・デジタル教材で、隠された大文字を当てる活動を通して、文字の読み方(名称)もいくつか仲間があることに気付かせる。</p>	<p>デジタル教材 教師用大文字カード デジタル教材(教材 道工具箱 HFP)</p>
10分	<p>○パスポートを見つけよう。</p> <p>・友達と以下のやり取りをして自分のパスポートを見つける。</p> <p>How do you spell your name? F·U·J·I·T·A H·A·N·A This is for you. Here you are./ Sorry. Thank you.</p>	<p>・アトランダムにパスポートを配る。やり取りをして自分のパスポートを見つけるよう言う。</p> <p>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音できる。〈行動観察〉</p>	<p>パスポート</p>
3分	<p>【STORY TIME】①</p> <p>・絵本の読み聞かせを聞く。</p>	<p>・自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。</p>	<p>デジタル教材</p>
2分	<p>・本時の振り返りをする。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>・本時のねらいに照らして称賛する。</p> <p>・挨拶をする。</p>	<p>振り返りカード</p>

Unit 1—Lesson 6 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 6/8 時間
目 標 会話を聞いて、欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音できる。
準 備 スモール・トークに使う実物、写真など、児童用絵カード (大文字)、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
5 分	・挨拶をする。  ○Small Talk: 欲しいもの	・全体に挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。  ・欲しいものについて話す。 ・一方的に話すのではなく、児童を会話に巻き込みながら話すようにする。	スモール・トークに 使う実物、写真など
<p>Small Talk : 欲しいもの (例)</p> <p>Hello. My birthday is April 20th. (黒板に 4/20 と書きながら) I want a new bicycle for my next birthday.</p> <p>I have a bicycle now, and it's old. I want a new sport type bicycle. Here! (自転車のカタログを見せながら)</p> <p>I like blue, so I want a blue bicycle.</p>			
5 分	【Let's Watch and Think 2】 p.7 ・前時の活動に続けて、二人の会話を聞いて、もう一人の好きなこと、欲しいもの、持っているものなど、分かったことを枠の中に書く。	・前時に聞き取れたことを、指導者に続いて言う。John likes? ・音声と一緒に言わせる。 ・答え合わせの際には、答えの確認だけでなく、音声に続けて指導者と一緒に言わせるようにする。 ◎欲しいものや好きなものなどを聞き取ることができる。<行動観察・誌面分析>	デジタル教材
12 分	○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)  ○Sounds and Letters ・デジタル教材を活用したアルファベットクイズに答える。	・児童用大文字カードを見ながら、同じ色の文字野時だけ、手をたたいて歌わない。そのあと、同じ色のカードの文字だけをデジタル教材で確認し言う。 (大文字 BCDEGPTVZ)  ・デジタル教材を使ってクイズを出す。	児童用テキスト  デジタル教材 (お道具箱) HFP 文字あてパズル 3

10分	<p><b>○誰でしょうクイズ</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手元にあるパスポートの持ち主に、スペルを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アトランダムにパスポートを配布し、持ち主にスペルを確認して渡すよう指示する。</li> <li>◎活字体で書かれた文字を識別し、発音できる。〈行動観察〉</li> </ul>	パスポート
8分	<p><b>【Activity】 p.8</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前活動で聞き取ったことを参考に、自分の名前や好きなもの、欲しいものなどについて、自己紹介の際に伝えたり尋ねたりしたいことを考える。</li> <li>・自分の名前やアルファベットや好きな物、欲しい物などについてのメモをもとに、指導者の質問に答えたり友達とやり取りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・誌面を使って自身の伝えたいことを考えまとめさせる。</li> <li>・さらに情報を追加したい場合は、次時までに考えてくるように伝える。</li> <li>・誌面に書いたメモを頼りに児童が答えられるような質問を投げる。</li> </ul> <p>What's your name? How do you spell it?</p> <p>What ___ do you like? What do you want?</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアでやり取りをさせる。</li> </ul>	デジタル教材 児童用大文字カード
2分	<p><b>【STORY TIME】 ②</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを聞く。</li> <li>・文字を指で追って聞く。</li> <li>・一緒に台詞を言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。2回目は、誌面の文字を指で追うよう指示する。3回目は、一緒に絵本の台詞を言うよう促す。</li> </ul>	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返る。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

Unit 1—Lesson 7 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 7/8 時間

目 標 自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや、欲しいものなどを伝え合ったりする。

準 備 自己紹介に必要な実物や写真、デジタル教材、振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> </ul> <p>○指導者のスピーチを聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者の自己紹介を、自分の発表のイメージと重ねながらしっかり聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体に挨拶をする。</li> <li>・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。</li> <li>・今までのスモール・トークをまとめた内容で行う。</li> <li>・児童に発表のイメージをもたせるように、自分の情報を自己紹介という形で伝える。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自己紹介 (例)</p> <p>Hello! My name is Tanaka Yumi. .</p> <p>I like tennis and curry rice. I like dogs.</p> <p>I want a new blue bicycle. Thank you.</p> </div> <p>◎自己紹介を聞いて、好きなものや欲しいものなどを聞いている。〈行動観察〉</p>	自己紹介に必要な実物や写真
15分	<p>【Activity】 p.8</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアで自己紹介をし合い、好きなもの、持っているもの、欲しいものについて尋ねたり答えたりする。また、次時の自己紹介プレゼンテーションに向けて、アドバイスをし合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自己紹介例</p> <p>Hello. My name is _____.</p> <p>_____ (名前のスペル)</p> <p>I like _____.</p> <p>I want _____. Thank you.</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他者意識をもって自分のことを伝える場合、どんな点に注意すればよいかをみんなで考える。</li> <li>・指導者がサンプルとしていくつか異なった形での自己紹介を見せ、よかった点や改善すべき点を児童に考えさせてもよい。</li> <li>・その後、ペアで自己紹介をし、アドバイスをし合うよう伝える。</li> </ul> <p>◎好きなものや欲しいものなどを伝えている。〈行動観察〉</p>	
5分	<p>○歌 ABC(abc) Song (3年 Unit 6, 4年 Unit 6)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ZからAの逆にアルファベットソングを歌う。ランダムに歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板に並べたカードを見ながら歌を歌う。</li> <li>・慣れてきたら、いくつかのカードを裏返して言ってみたり、順番を逆にしたりランダムに並べて言う。</li> </ul>	デジタル教材 教師用大文字カード

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童が集めた身の回りの略語を黒板に書き、みんなで読み上げる。(例) DVD TV BS AM など</li> </ul>	
5分	<p>○身の回りの大文字探し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・班で身の回りにある英語の略語を考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールを理解し、児童がアルファベットの名称を言いながらカードを並べているかを補助する。</li> </ul>	児童用大文字カード
5分	<p>○Sounds and Letters</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ANZ ゲームをする。</li> </ul>		
<p><b>ANZ ゲームの進め方</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 4～5人のグループに1セットの児童用絵カード(大文字)を準備する。</li> <li>2. ANZのカードをあらかじめ並べておき、順に一枚ずつアルファベットを言いながらだし、つなげていく。(7並べの要領で)</li> <li>3. 手持ちのカードで出せる場所がなければパスをする。</li> <li>4. 早くカードがなくなったら勝ちとする。</li> </ol>			
2分	<p>【STORY TIME】③</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・読み聞かせを聞く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導者自身が読むか、デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。</li> </ul>	デジタル教材
3分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動を振り返る。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード

Unit 1—Lesson 8 単元名 Hello, everyone. アルファベット・自己紹介 8/8 時間
目 標 他者に配慮しながら自身の名前や好きなもの、持っているもの、欲しいものなどを含めて簡単な自己紹介をしようとする。
準 備 自己紹介に必要な実物や写真, 児童用大文字カード, デジタル教材, 振り返りカード

時間	児童の活動	指導者の活動 ◎評価<方法>	準備物
3分	・挨拶をする。	・全体に挨拶をする。 ・本時のめあてと流れを児童と共に確認する。	
27分	【Activity】 p.8 「自己しょうかいをしよう。」 ・全員の前で自己紹介をする。(名前, 好きな色, 食べ物など, 持っているものやアルファベットの文字など) ・聞いている人は, 良かった点や感想を発表できるように, しっかり聞く。	・評価の視点や, 目指すべき姿を共有する。 ・聞いている児童は聞く姿勢も大切だということを伝える。 ・中間評価をし, 良いスピーチについて, 具体的に児童と共通理解し, 後半のスピーチを行う。 ・クラスの実態に合わせて班ごとに一人立って順番にしてもよい。 ◎他者に配慮しながら自己紹介しようとしている。(発表観察)	自己紹介に必要な実物や写真
8分	OSounds and Letters ・ I spy ゲームをする。 ・ペアになって, 一人が言うアルファベットを相手が探して指さす。 ・最初は一文字から始め, しだいに “B, D”, “R, M, S” というように文字数を増やしていく。 ・役割を交代する。	・ 2人の児童の間に 1冊テキストを, p.80 を開いた状態で置き, 指導者が言う (またはデジタル音声の) 文字を 2人で指さす。 ・次に, ペアで交代に指示をしてその文字を指さすようにする。 ・児童が I spy ゲームをしている様子を机間指導し, 支援が必要な児童には, そばに言って一緒に文字を探すなどの補助をする。 ◎文字と音については単元を通して適宜評価する。アルファベットの大文字(活字体)とその名称が分かる。(行動観察)	デジタル教材
2分	【STORY TIME】 ④ ・読み聞かせを聞く。 ・指導者と一緒に読む。	・指導者自身が読むか, デジタル教材を使って絵本の読み聞かせをする。	デジタル教材

5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動及び本単元を振り返る。振り返りカードに記入する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時のねらいに照らして児童を称賛する。</li> <li>・挨拶をする。</li> </ul>	振り返りカード
----	---	---	---------

第3学年 外国語活動 年間指導計画例〔案・暫定版〕

平成29年9月21日  
新教材説明会配付資料

資料3

※今後の検討の過程で修正される可能性がある。

単元時数	単元名	単元目標	主な活動例	表現例 (下線は新出の表現)	新出語彙・語句例	既出表現・語彙例	HFとの 関連
1 (2単位 時間)	Hello! あいさつをして友 達になろう	・ 世界には様々な言語があることを知り、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。 ・ 名前を言って挨拶をし合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。	・ 世界の様々な言語での挨拶を知る。 ・ 自分の名前を伝え、挨拶をする。	<u>Hello.</u> <u>Hi.</u> <u>I'm (Hinata).</u> <u>Goodbye.</u> <u>See you.</u>	挨拶 (hello, hi, goodbye, see you), friends, I, am,		1-L1
2 (2単位 時間)	How are you? ごきげんいかが？	・ 表情やジェスチャーの大切さとともに表す意味の違いに気付き、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。 ・ 表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。 ・ 表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。	・ 友達と挨拶をして、ジェスチャーを交えて自分の様子や状態を伝える。	<u>How are you?</u> <u>I'm (happy).</u>	how, are, 状態・気持ち (fine, happy, good, sleepy, hungry, tired, sad, great)	挨拶・自己紹介	1-L2
3 (4単位 時間)	How many? 数えてあそぼう	・ 日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方が存在することに気付き、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。 ・ 数を尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。	・ 身の回りの物の数や、好きな漢字の画数を尋ねたり答えたりして伝え合う。	<u>How many (apples)?</u> <u>Ten (apples).</u> <u>Yes.</u> <u>That's right.</u> <u>No.</u> <u>Sorry.</u>	many, 数 (1-20), 身の回りの物 (marble, ball, pencil, eraser, ruler, crayon), 果物・野菜 (apple, strawberry, tomato), 形 (circle, triangle, cross), stroke, yes, no, sorry, that, is, right	挨拶・自己紹介, 状態・気持ち	1-L3
4 (4単位 時間)	I like blue. 好きなものをつた えよう	・ 多様な考え方が存在することや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 自分の好みを伝え合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。	・ 自分の好きなものについて話したり、質問に答えたりする。	<u>I like (blue).</u> <u>Do you like (blue)?</u> <u>Yes, I do. / No, I don't.</u> <u>I don't like (blue).</u>	like, do, don't, 色 (red, blue, green, yellow, pink, black, white, orange, purple, brown), スポーツ (soccer, baseball, basketball, dodgeball, swimming), 飲食物 (ice cream, pudding, milk, orange juice), 果物・野菜 (onion, green pepper, cucumber, carrot), rainbow	挨拶・自己紹介, 状態・気持ち	1-L4
5 (4単位 時間)	What do you like? 何が好き？	・ 日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。	・ どのような物が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。	<u>What do you like?</u> <u>I like (tennis).</u> <u>What (sport) do you like?</u> <u>I like (soccer).</u>	what, color, スポーツ (sport, volleyball, table tennis), 飲食物 (food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam), 果物・野菜 (fruit, orange, grape, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)	挨拶, I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. 数 (1-20), 色, 果物・野菜, 飲食物, スポーツ	1-L4
6 (4単位 時間)	ALPHABET アルファベットと なかよし	・ 身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。 ・ 自分の姓名の頭文字を伝え合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。	・ 文字のカードを使って、自分の姓名の頭文字を伝え合う。	<u>(Card 'A'), please.</u> <u>Here you are.</u> <u>Thank you.</u> <u>You're welcome.</u>	大文字 (A-Z), card, alphabet, please, here, thank, welcome, 数 (21-30, 0), book, drum, fish, gorilla, hat, ink, jet, king, monkey, notebook, pig, queen, rabbit, sun, tree, umbrella, violin, watch, box, yacht	挨拶, you, are, 数 (1-20), apple, crayon, egg, lemon, orange	1-L6
7 (5単位 時間)	This is for you. カードをおくろう	・ 日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを紹介しようとする。	・ プレゼントするカードを作るために、欲しい色や形を尋ねたり答えたりする。 ・ 作成したカードを見せて紹介する。	<u>What do you want?</u> <u>(A star), please.</u> <u>Here you are.</u> <u>This is for you.</u> <u>Thank you.</u> <u>You're welcome.</u>	this, a, for, 状態・気持ち (big, small), 形 (square, rectangle, heart, star, diamond), bus, flower, 動物 (dog, cat, panda, mouse, bear)	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. I don't like (blue). What (sport) do you like? How many (apples)? Here you are. Thank you. You're welcome. 形 (circle, triangle, cross), 色, 数 (1-30)	1-L5
8 (5単位 時間)	What's this? これなあに？	・ 外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ クイズを出したり答えたりし合う。 ・ 相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。	・ 身の回りの物に関するクイズを作って、相手に伝える目的をもって動作を交えながら尋ねたり答えたりする。	<u>What's this?</u> <u>Hint, please.</u> <u>It's (fruit).</u> <u>It's (green).</u> <u>It's (a melon).</u> <u>That's right.</u>	it, hint, 動物 (elephant, tiger, owl, raccoon dog), 昆虫 (dragonfly, grasshopper, spider, moth), nest	I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. That's right. No. Sorry. 数 (1-30), 果物・野菜, 飲食物, 動物, 色, 形, 状態・気持ち, what, is, this, please	1-L4
9 (5単位 時間)	Who are you? ～"In the Autumn Forest"～ きみはだれ？	・ 日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・ 絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。 ・ 絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。	・ 絵本の読み聞かせを聞いて、身の回りの物に関する簡単な語句や基本的な表現とそれを表すイラストなどを結び付ける。	<u>Are you (a dog)?</u> <u>Yes, I am. / No, I'm not.</u> <u>Who are you?</u> <u>I'm (a dog).</u> <u>Who am I?</u> <u>Hint, please.</u>	who, 動物 (cow, dragon, snake, horse, sheep, chicken, wild boar), 状態・気持ち (long, shiny, scary, round, furry), 身体部位 (head, eyes, ears, nose, mouth, shoulders, knees, toes), not	挨拶・自己紹介 I like (blue). Do you like (blue)? Yes, I do. / No, I don't. What (sport) do you like? How many (apples)? Hint, please. Are, 色, 形, 状態・気持ち, 動物, 果物・野菜, 飲食物, 数 (1-30)	2-L7

この年間指導計画例〔案・暫定版〕では、児童が発話をする表現例・語彙例を記載している。3年生では、Unit 6～Unit 9においてアルファベットの文字とその読み方を扱うことを想定している。



第5学年 外国語 年間指導計画例〔案・暫定版〕

平成29年9月21日  
新教材説明会配付資料

資料3

※今後の検討の過程で修正される可能性がある。

単元 時数	単元名	単元目標	主な活動例	表現例 (下線は新出の表現)	新出語彙・語句例	既出表現・語彙例	HFとの 関連
(8単位 時間)	1 Hello, everyone. アルファベット・ 自己紹介	・好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を識別し、読む(発音)することができる。 ・自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。 ・他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。	・自己紹介を聞いて、具体的な情報を聞き取ったり、必要な情報を得る。 ・好きなもの、欲しいものなどを含めて自己紹介をする。 ・活字体の文字で自分の名前を書いたり、そのつづりを言ったりする。	Hello, I'm (Saki). <u>Nice to meet you.</u> <u>My name is (Koski).</u> <u>How do you spell your name? K-O-S-E-I.</u> I like / don't like (blue). What (sport) do you like? I like (soccer) <u>very much.</u> I want (a new ball).	nice, to, meet, spell, new, very, much, class, badminton, chocolate, lettuce, name, animal, watch, think	活字体(大文字, 小文字), 色, 飲食物, 果物・野菜, 動物, 数, スポーツ	1-L1 1-L4 2-L1
(7単位 時間)	2 When is your birthday? 行事・誕生日	・誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の大文字を書くことができる。 ・祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。 ・他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。	・誕生日カードを作成し贈るために、誕生日や好きなもの、欲しいものを尋ねたり答えたりする。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。	<u>When is your birthday? My birthday is (August 19th).</u> What (sport) do you like? Do you like (soccer)? Yes, I do. / No, I don't. I like / don't like (soccer). <u>Do you want (new soccer shoes)?</u> What do you want <u>for your birthday?</u> I want (a dog). This is for you. Thank you. You're welcome. <u>Happy birthday.</u>	月 (January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December), 季節 (spring, summer, autumn/fall, winter), 序数 (1st — 31st), your 日本の行事 (New year's day/eve, Children's day, Dolls' festival)	活字体(大文字, 小文字), スポーツ, 身の回りの物など	2-L2
(7単位 時間)	3 What do you have on Monday? 学校生活・教科・ 職業	・教科について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を識別し、読むことができる。 ・学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。 ・他者に配慮しながら、時間割やそれについて自分の考えなどを伝え合おうとする。	・教科や曜日について尋ねたり答えたりするとともに、ある職業に就くためにふさわしいと思われる時間割を提案し、それについて尋ねたり答えたりする。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。また、時間割に関する簡単な語句を書き写す。	Do you have (P.E.) <u>on (Monday)?</u> Yes, I do. / No, I don't. <u>What do you have on (Monday)?</u> I study (math). <u>I want to be (a teacher).</u> <u>I want to study (math).</u>	教科 (Japanese, English, math, social studies, home economics, calligraphy, moral education, P.E.), cleaning time, recess, 職業 (police officer, soccer player, doctor, baseball player, florist), study	曜日, 教科 (music, arts and crafts, science), teacher	1-L8 2-L8
(8単位 時間)	4 What time do you get up? 一日の生活	・一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。 ・一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。 ・他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。	・自分の一日の生活に関する基本的な表現を聞いて、具体的な情報を聞き取る。 ・自分の一日の生活について伝え合う。 ・活字体の文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・一日の生活に関する簡単な語句を書き写す。	<u>What time do you (get up)?</u> <u>I (usually) (get up) at (7:00).</u>	always, usually, sometimes, never, at, 手洗い (wash the dishes, set the table, walk my dog, clean my room, get the newspaper)	日課, 数 (1—60), 動作, 曜日, スポー ツ, 教科, take out the garbage	2-L6
(8単位 時間)	5 She can run fast. He can jump high. できること	・自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、文字には音があることに気付く。 ・自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う。 ・他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。	・他者ができること、できないことを尋ねたり答えたりする。 ・校内の先生についてできること、できないことを含めて紹介する。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・スポーツをすることなどについて、簡単な語句を書き写す。	<u>Can you (sing well)?</u> <u>Yes, I can. / No, I can't.</u> <u>I / (You/He/She) [can / can't] (sing well).</u>	動作 (play [soccer / badminton / table tennis / volleyball / shogi / kendama / the recorder (the piano), do [kendo / judo], ride a [bicycle / a unicycle], swim, skate, ski, cook, run fast, jump high, sing well), can, can't, he, she	スポーツ, 動作, 日課	2-L3
(8単位 時間)	6 I want to go to Italy. 行ってみたい国や 地域	・国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。 ・行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。 ・他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合おうとする。	・海外旅行を紹介して勧めたり、行きたい旅行を理由を含めて選んだりする。 ・校内の先生についてできること、できないことを含めて紹介する。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・ポスターやパンフレットなどにある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。	<u>Where do you want to go?</u> <u>I want to go to (Italy).</u> <u>Why?</u> <u>I want to [see / go to / visit] (the Colosseum).</u> <u>I want to eat (pizza).</u> <u>I want to buy (olive oil).</u> <u>It's [exciting/delicious/beautiful/great/fun].</u>	国 (Australia, Peru, Thailand, the UK, the USA, Japan, Italy, Germany, Canada, Spain, France, Brazil, China, Korea, Russia, Egypt, India, Belgium, Finland, Ireland), 状態・気持ち (beautiful, delicious, exciting, fun), where, 動作 (visit, see, buy, eat)	動作, 状態・気持ち, 国, 飲食物	2-L5
(8単位 時間)	7 Where is the treasure? 位置と場所	・物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。 ・道案内で、場所を尋ねたり答えたり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。 ・他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしりしようとする。	・ある物の場所や物の位置関係について説明を聞き、道案内をしり宝探しをしりする。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・地図やポスターなどにある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。	<u>Where is the treasure?</u> <u>Go straight (for three blocks).</u> <u>Turn [right / left] (at the third corner).</u> <u>You can see it on your [right / left].</u> <u>It's [on / in / under / by] (the desk).</u>	身の回りの物 (cap, cup, basket, scissors, box), 施設・ 建物 (station, fire station, gas station, police station, post office, hospital, supermarket, convenience store, department store, bookstore, park), treasure, block, in, under, by, corner	動作, 施設・建物 (library, school, park)	2-L4
(8単位 時間)	8 What would you like? 料理・値段	・家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。 ・丁寧に注文を尋ねたり答えたりして、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読んだりする。 ・他者に配慮しながら、丁寧に注文を尋ねたり答えたり、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。	・丁寧に言い方で料理の注文をしり、値段を尋ねたり答えたりする。 ・誰のためにどんなメニューを考えたのかについて理由を含めて短い話をしり、相手の説明を聞いて必要な情報を聞き取ったりする。 ・感想を伝えたり質問したりする。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・メニューなどにある視覚情報を伴う語句を読み、自分が必要とする情報を得る。	<u>What would you like?</u> <u>I'd like (spaghetti).</u> <u>It's for (my brother). This is for (my brother).</u> <u>How much? It's (970 yen).</u> Here you are. Thank you.	飲食物 (curry and rice, French fries, fried chicken, grilled fish, salad, mineral water, parfait, bread, drink, soda pop, green tea, dessert, omelet, beef steak, cake, coffee, corn soup, daifuku, gyoza, miso soup, ramen, rice, rice ball, spaghetti, yogurt), 家族 (father, mother, sister, brother, grandfather, grandmother), busy, enjoy, would, special, menu, table, 数 (seventy, eighty, ninety, hundred)	野菜, 飲食物, 状態・気持ち, 数 (1- 60)	1-L9
(8単位 時間)	9 Who is your hero? あこがれの人	・得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。 ・憧れたり尊敬したりする人について、自分の考えや気持ちを含めて伝え合う。 ・他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。	・自分があこがれたり尊敬する人について説明し、その人に対する自分の考えや気持ちなどを紹介する。 ・文字の音に慣れ親しみ、活字体の文字を読んだり書いたりする。 ・例文を参考に語と語の区切り注意到、ある人を紹介している簡単な語句や基本的な表現を書き写す。	<u>Who is your hero? This is my hero.</u> <u>[He/ She] is good at (playing tennis).</u> <u>[He/She] is a good (tennis player).</u> [He/She] can (cook well). <u>[He/She] is [kind/cool/great/strong/gentle/active/brave/funny].</u>	hero, so, because, 状態・気持ち (active, cool, fantastic, friendly, gentle, kind, brave, strong, tough)	状態・気持ち, 動作, スポーツ, 日課, 職業, 家族	

この年間指導計画例〔案・暫定版〕では、児童が発話をする表現例・語彙例を記載している。5年生では、すべての単元を通じて以下の活動を行うことを想定している。

- 1) 帯活動で指導者による、あるいはデジタル教材等を活用した短い話を聞く活動(2単位時間に1回程度)
- 2) 文字と音の認識を深める活動(各単元)

第6学年 外国語 年間指導計画例（案・暫定版）

※今後の検討の過程で修正される可能性がある。

単元 時数	単元名	単元目標	主な活動例	表現例 (下線は新出の表現)	新出語彙・語句例	既出表現・語彙例	HFとの 関連
1 (8単位 時間)	This is me. 自己紹介	・自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。 ・自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。 ・他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。	・これまでに学習した簡単な語句や基本的な表現などを使って、自己紹介をする。 ・例を参考に語と語の区切りに注意して、自己紹介の基本的な表現を書き写したり、意味を理解したりする。	<u>I'm from (Shizuoka).</u> I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (running). My birthday is (August 19th). <u>My nickname is (Ken).</u> What [colors /subjects /fruits /sports /animals] do you like? <u>What is your favorite [colors /subjects /fruits /sports /animals]?</u> When is your birthday?	from, nickname, favorite	色、動物、飲食物、スポーツ、教科、月、序数 (1st- 31st)	1-L4 1-L5 2-L2 2-L3
2 (8単位 時間)	Welcome to Japan. 日本の文化	・日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。 ・日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ・他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。	・日本の文化について伝え合う。 ・例を参考に語と語の区切りに注意して、日本の文化に関する簡単な語句や基本的な表現を書き写す。	<u>Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival).</u> What [food / games] do you have in Japan? We have [ <u>soba / fukuwarai</u> ]. It's [delicious / fun]. <u>You can enjoy [rakugo /hamami /tempura].</u>	welcome, culture, festival, castle, desert, firework, enjoy, traditional, 日本の行事 (star /snow festival), 味覚 (sweet, bitter, sour, salty, spicy), soft, hard	状態・気持ち、スポーツ、飲食物、季節、月、日本の行事 (New year's day/, Children's day, Dolls' festival)	
3 (8単位 時間)	He is famous. She is great. 人物紹介	・「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。 ・語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。 ・他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。	・日本や世界で活躍する人物などに関する短い紹介を聞いたり、その人物などになったつもりで自己紹介したりする。 ・ある人物になりきって自己紹介したことを、語順を意識して書く。	I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new [recorder / a ball]. I eat (spaghetti). I study (math). I can [swim/ cook / skate / ski / sing / dance]. I can (play baseball well). Who is this? [He/ She] is [famous / great].	famous, nut, old, 身の回りの物 (racket, computer, violin, drum)	he, she, 動物、飲食物、スポーツ、身の回りの物、教科、動作、状態・気持ち	2-L3
4 (8単位 時間)	I like my town. 自分たちの町・地域	・地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。 ・地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ・地域のよさなどについて、伝え合おうとする。	・自分たちの町について自分の考えを発表する。 ・例を参考に語と語の区切りに注意して、自分たちの町に関する基本的な表現を書き写す。	<u>We have /don't have (a park).</u> <u>We can (see many flowers).</u> <u>We can enjoy [fishing / shopping / swimming].</u> I want a [library / park]. <u>(Sakura) is a nice town.</u>	we, town, 施設と建物 (amusement park, aquarium, swimming pool, stadium, roller coaster, Ferris wheel), but, so, nature, 動作 (dancing, jogging, playing, reading, shopping, singing, walking)	施設・建物 (library, school park) , 状態・様子、飲食物、動作、スポーツ、enjoy, have, want, buy, see, eat, play	
5 (8単位 時間)	My Summer Vacation 夏休みの思い出	・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。 ・夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ・他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。	・夏休みの思い出について伝え合う。 ・夏休みの思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現で書かれたものを推測しながら読む。 ・語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現例から選んで書く。	<u>I went to (my grandparents' house).</u> <u>I enjoyed (fishing).</u> <u>I saw (the blue sea).</u> <u>I ate (ice cream).</u> <u>It was [fun /exciting /beautiful /delicious].</u>	grandparent, vacation, zoo, 動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), 自然 (beach, mountain, sea, lake, river), 動作 (hiking, camping, fishing)	my, it, スポーツ、飲食物、季節、動作、身の回りの物、状態・気持ち	
6 (6単位 時間)	What sport do you want to watch? オリンピック・パラリンピック	・国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。 ・オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合う。 ・他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合おうとする。	・オリンピック・パラリンピックで観たい競技について尋ねたり答えたりして伝え合う。 ・観たい競技について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む。 ・語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現の例から選んで書く。	<u>What do you want to watch?</u> I want to watch (wheelchair basketball). I like basketball. <u>Are you good at (basketball)?</u> Yes, I am./No, I'm not.	Olympic games, Paralympic games, スポーツ・競技名 (wheelchair [basketball /tennis /marathon], sitting volleyball), para swimming, athletics, gymnastics, football など, 国 (Malaysia, Norway, Thailand, Vietnam), evening	スポーツ、国、曜日, morning, afternoon	2-L5
7 (8単位 時間)	My Best Memory 小学校生活・思い出	・学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。 ・学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。 ・他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。	・小学校生活を振り返り、思い出に残る行事について伝え合う。 ・小学校生活の思い出について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む。 ・語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現の例から選んで書いたりする。	<u>What's your best memory?</u> <u>My best memory is from (sports festival).</u> We enjoyed (running). We [went to (Kyoto) / ate (Japanese food) / saw (old temples) / enjoyed (the trip)].	best, memory, 行事 (sports day, school trip, field trip, music festival, volunteer day, drama festival, swimming meet, entrance ceremony, graduation day)	school, we, 季節、教科、状態・気持ち、施設・建物、飲食物、動作、動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was)	
8 (8単位 時間)	What do you want to be? 将来の夢・職業	・将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。 ・将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。 ・他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。	・自分の将来の夢について発表する。 ・将来の夢について、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読む。 ・語順を意識しながら簡単な語句や基本的な表現の例から選んで書く。	<u>What do you want to be?</u> I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). I am good at (playing the piano). I want to be a (pianist). <u>That's (good). Good luck.</u>	be, luck, future, 職業 (astronaut, cook, pilot, singer, flight attendant, vet, zoo keeper, comedian, baker, dentist, artist, farmer, bus driver, figure skater)	職業、動作、動詞の過去形 (went, ate, saw, enjoyed, was), スポーツ、動物、飲食物、状態・気持ち、身の回りの物、教科	2-L8
9 (8単位 時間)	Junior High School Life 中学校生活・部活動	・中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。 ・中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。 ・他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。	・中学校でやってみたいことについて伝え合う。 ・中学校や将来の夢について、例を参考に情報を補ってスピーチの原稿を完成する。	I like (basketball). I want to join the (basketball team). <u>What club do you want to join?</u> I want to enjoy (sports day). <u>What event do you want to enjoy?</u> I want to [study hard /read many books /make many friends].	member, team, practice, meet, join, junior, high, us, event, uniform, test	動作、身の回りの物、スポーツ、職業、日課、曜日、状態・気持ち、行事、教科など	

この年間指導計画例（案・暫定版）では、児童が発話をする表現例・語彙例を記載している。5年生では、すべての単元を通じて以下の活動を行うことを想定している。

- 帯活動で指導者による、あるいはデジタル教材等を活用した短い話を聞く活動（2単位時間に1回程度）
- 文字と音の認識を深める活動（各単元）

- ① 学校全体で教育課程内における指導体制の確立を図っていくことや、単元や題材などの内容や時間のまとまりを見通した指導計画を作成していくことが必要である。そのためには、**管理職を中心として全職員で取り組む校内の体制づくり**を進めたり、更には**教育委員会など行政機関が主導して体制整備**を進めたりするなど、連携して取り組んでいくことが重要である。
  
- ② 外国語科における短時間または長時間の授業時間の設定に当たっては、第1章総則の第2の3(2)ウ(イ)にあるとおり、「教師が、単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した中で、その指導内容の決定や指導の成果の把握と活用等を責任を持って行う体制が整備されている」ことが必要であり、更に以下の事項にも留意することが求められる。
  - **外国語科の特質**を踏まえた検討を行うこと
  - 単元や題材といった**時間や内容のまとまりの中に適切に位置付ける**ことにより、バランスの取れた資質・能力の育成に努めること
  - **授業のねらい**を明確にして実施すること
  - 教科書や、教科書と関連付けた教材を開発するなど、**適切な教材**を用いること
  
- ③ 具体的な学習活動の例としては、**短時間(10分から15分)**であれば、**場面設定をした上で、必要な語句や基本的な表現を繰り返し聞いたり話したりする活動**や、**文字を読んだり書いたりする活動**など、**長時間(45分+15分の60分授業)**であれば、単元の最後の時間に、**意味のある場面や状況を設定し、深まりのある言語活動**を行うなどが考えられるが、まとまりのある学習(45分授業)との関係性を明確にした一定の効果が得られる活動を各学校の創意工夫により設定することが重要である。

※外国語学習の特質を踏まえ、短時間の授業を行う際は、まとまりのある授業時間を確保した上で、両者の関連性を明確にする必要がある。このため、**年間35単位時間、週あたり1単位時間の外国語活動を短時間で実施することは、上記のようなまとまりのある授業時間を確保する観点から困難**である。

短時間学習に対応した単元計画例 (サンプル) 1Unit 8 時間を, 45分授業 × 5 コマ + 短時間学習 (15分) × 5 回 + 60 (45+15) 分授業 1 回で行うパターンの一例

単元名	小学校外国語教材 We Can! ①(5年生) Unit 4 What time do you get up? 一日の生活 (8単位時間)
単元目標	・一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、活字体の小文字を書くことができる。 ・一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。 ・他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合うとする。
言語材料	What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00). always, usually, sometimes, never, at, 手伝い (wash the dishes, set the table, walk my dog, clean my room, get the newspaper) 【既出】日課、数 (1—60)、動作、曜日、スポーツ、教科、take out the garbage



単元計画 (活動例)							
1	2	3	4	5	6	7	8
<p>◆一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○先生の一日の生活を知ろう。</p> <p>・先生の一日の生活について話を聞く。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.28</p> <p>・映像を視聴し、世界の子供たちの一日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等、気付いたことを発表する。</p> <p>○ポインティング・ゲーム p.26, 27</p> <p>○フェイントレポート【Let's Chant 1】p.29 What time do you get up?</p> <p>○Buzz Game 1~60</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆一日の生活について聞いたり言ったりできる。</p> <p>○Small Talk: いつもすること</p> <p>【Let's Play 1】p.30 ポインティングゲーム (頻度)</p> <p>○キーフレーズゲーム (頻度)</p> <p>○マジョリティ調査</p> <p>【Let's Chant 1】 p.29 What time do you get up?</p> <p>【Let's Play 2】p.31</p> <p>・ペアになり互いにWhat time do you (get up)?と尋ね、時刻を枠に記入する。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆一日の生活についてまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉える。</p> <p>【Let's Chant 1】 p.29 What time do you get up?</p> <p>【Let's Play 1】p.30 ポインティングゲーム (頻度)</p> <p>【Let's Listen 1】p.31</p> <p>・登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、線で結ぶ。</p> <p>【Let's Play 3】p.32</p> <p>・先生の生活について聞きとり、時間を記入する。</p> <p>・ペアになり、日常生活について尋ねたり答えたりする。</p> <p>○デスティニーゲーム</p> <p>・日常の行動について全員で尋ね、該当するカードを持っている児童は頻度を含めて答える。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆一日の生活や頻度について尋ね聞き取る。</p> <p>○Small Talk: 日課</p> <p>○デスティニーゲーム(グループ)</p> <p>【Activity】p.32</p> <p>・日常生活について尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に名前や時間を記入する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆生活に関して音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語で書かれたものの意味が分かる。</p> <p>○Small Talk: いつもすることしなないこと</p> <p>【Let's Chant 2】p.33 I always wash the dishes.</p> <p>【Let's Listen 2】p.33</p> <p>・音声聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのか考えて、線で結ぶ。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 P.33</p> <p>・Markがどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って読面の表に記入する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆生活に関して音声で十分に慣れ親しんだ簡単な単語で書かれたものの意味が分かる。</p> <p>【Let's Chant 2】 P.33 I always wash the dishes.</p> <p>【Let's Watch and Think 2】 p.33</p> <p>・Francisがどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って読面の表に記入する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○自分の日常生活について紹介の準備</p> <p>・追加で話すことの整理をする。完成したら自分で言ってみて練習をする。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p> <p>○Sounds and Letters 2</p> <p>仲間の言葉集め</p> <p>・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをする。</p>	<p>◆他者に配慮しながら自分の一日の生活について伝えようとする。</p> <p>○Small Talk: 一日の生活</p> <p>【Let's Chant 1または2】児童の実態に合わせたチャンツ</p> <p>・児童の実態に合わせたチャンツを選択して言う。</p> <p>【Let's Listen 3】P.34</p> <p>・日常生活に関する登場人物による会話を聞いて、イラストを線で結ぶ。</p> <p>○ペアで、日常生活を紹介し合う。</p> <p>・次時の練習も兼ね、班の中でペアを替えながら日常生活を紹介し合う。互いにアドバイスをし合う。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>◆他者に配慮しながら自分の一日の生活について伝えようとする。</p> <p>○Small Talk: 先生のスピーチ</p> <p>【Let's Chant】児童の実態に合わせたチャンツ</p> <p>・児童の実態に合わせたチャンツを選択して言う。</p> <p>○日常生活を紹介し合う。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>活字体の小文字を書く。</p> <p>○Sounds and Letters 2</p> <p>仲間の言葉集め</p> <p>・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをする。</p>

**【短時間学習や弾力的な授業時間の設定に対応した活動の考え方】**

○場面設定をした上での、語彙や表現の定着を図る繰り返しの学習

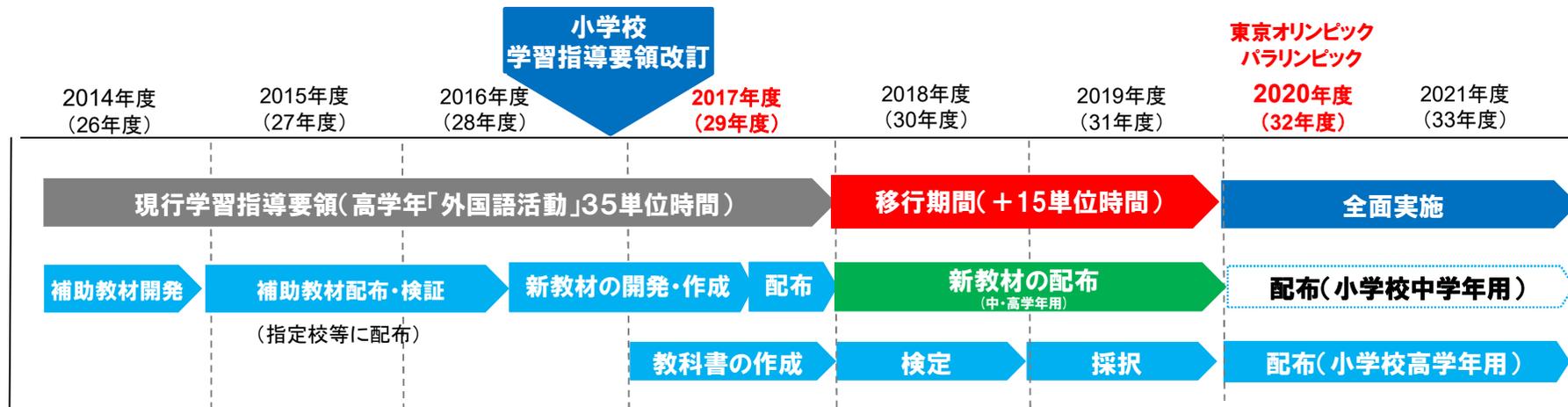
・まとまりのある学習(45分授業)との関係性を明確にした一定の効果を得られる活動

・短時間の中で児童の活動量を確保するために、児童への説明や教材等の準備が比較的容易な活動

★45分+15分で60分授業として想定される活動

・意味のある場面や状況を設定し、「深まりのあるコミュニケーション活動」等をする

1	短時間学習① 【15分】	2	短時間学習② 【15分】	3	短時間学習③ 【15分】	4	短時間学習④ 【15分】	5	短時間学習⑤ 【15分】	6 + 短時間学習⑥ 【45+15=60分】
<p>○先生の一日の生活を知ろう。</p> <p>・先生の一日の生活について話を聞く。</p> <p>【Let's Watch and Think 1】 p.28</p> <p>・映像を視聴し、世界の子供たちの一日について知り、自分達の生活との共通点や相違点等、気付いたことを発表する。</p> <p>○ポインティング・ゲーム p.26, 27</p> <p>○フェイントレポート【Let's Chant 1】p.29 What time do you get up?</p> <p>○Buzz Game 1~60</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>【Let's Play 1】 p.30 ポインティングゲーム (頻度)</p> <p>○キーフレーズゲーム (頻度)</p>	<p>○Small Talk: いつもすること</p> <p>○マジョリティ調査</p> <p>【Let's Chant 1】 p.29 What time do you get up?</p> <p>【Let's Play 2】p.31</p> <p>・ペアになり互いにWhat time do you (get up)?と尋ね、時刻を枠に記入する。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>活字体の小文字を書く。</p> <p>【Let's Play 3】p.32</p> <p>・先生の生活について聞きとり、時間を記入する。</p> <p>・ペアになり、日常生活について尋ねたり答えたりする。</p>	<p>【Let's Chant 1】 p.29 What time do you get up?</p> <p>【Let's Listen 1】 p.31</p> <p>・登場人物がどんな頻度でどんなことをしているのかを聞き取り、線で結ぶ。</p> <p>○デスティニーゲーム</p> <p>・日常の行動について全員で尋ね、該当するカードを持っている児童は頻度を含めて答える。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>【Let's Chant 1】 p.29 What time do you get up?</p> <p>○デスティニーゲーム(グループ)</p> <p>【Activity】p.32</p> <p>・日常生活について尋ねたり、頻度を含めて答えたりし、表に名前や時間を記入する。</p>	<p>○Small Talk: 日課</p> <p>【Let's Chant 2】p.33 I always wash the dishes.</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p> <p>【Let's Listen 2】P.33</p> <p>・音声聞いて、だれがどんな頻度で行う日課なのか考えて、線で結ぶ。</p> <p>【Let's Watch and Think 2】P.33</p> <p>・Markがどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って読面の表に記入する。</p>	<p>○Small Talk: いつもすることしなないこと</p> <p>【Let's Chant 2】 p.33 I always wash the dishes.</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p>	<p>【Let's Chant 2】 P.33 I always wash the dishes.</p> <p>【Let's Watch and Think 2】p.33</p> <p>・Francisがどんな頻度でどんな行動をしているのか等について聞き取って読面の表に記入する。</p> <p>○Let's Read and Write</p> <p>・自分の日課について、カードから選んで貼る。声に出して読んでみる。</p> <p>○自分の日常生活について紹介の準備</p> <p>・追加で話すことの整理をする。完成したら自分で言ってみて練習をする。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p> <p>○Sounds and Letters 2</p> <p>仲間の言葉集め</p> <p>・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをする。</p>	<p>○Small Talk: 一日の生活</p> <p>【Let's Chant 1または2】児童の実態に合わせたチャンツ</p> <p>・児童の実態に合わせたチャンツを選択して言う。</p> <p>【Let's Listen 3】 P.34</p> <p>・日常生活に関する登場人物による会話を聞いて、イラストを線で結ぶ。</p> <p>○ペアで、日常生活を紹介し合う。</p> <p>・次時の練習も兼ね、班の中でペアを替えながら日常生活を紹介し合う。互いにアドバイスをし合う。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>・活字体の小文字を書く。</p> <p>○Sounds and Letters 2</p> <p>仲間の言葉集め</p> <p>・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをする。</p>	<p>【Let's Chant】児童の実態に合わせたチャンツ</p> <p>・児童の実態に合わせたチャンツを選択して言う。</p> <p>○ペアで、日常生活を紹介し合う。</p> <p>・次時の練習も兼ね、班の中でペアを替えながら日常生活を紹介し合う。互いにアドバイスをし合う。</p> <p>○Sounds and Letters 1</p> <p>活字体の小文字を書く。</p> <p>○Sounds and Letters 2</p> <p>仲間の言葉集め</p> <p>・デジタル教材を活用して、仲間の言葉集めをする。</p>	



- 新学習指導要領に円滑に移行するため、**来年度からの2年間は、全ての小学校において、「外国語科」「外国語活動」の内容のうち、中学校との接続の観点から必要最低限の内容を指導。**
- これに加えて、各学校の判断により、**より多くの内容を指導することも可能。**
- 教科書が無償給与されるまでの2年間、国が新学習指導要領に対応した教材を配布する必要。**

## 【学習指導要領改訂のポイント】

中学年から、聞くこと、話すことを中心とした「外国語活動」(年間35単位時間)を導入し、外国語に慣れ親しみ、学習への動機付けを高めた上で、高学年から段階的に文字を読むこと、書くことを加え、系統性を持たせた指導を行うため教科「外国語」(年間70単位時間)を導入。

## 【移行措置のポイント】

- ◆小学校高学年
  - ・新たに年間15単位時間を加え、50単位時間を確保し、外国語活動の内容に加えて、外国語科の内容を扱う。外国語科の内容については、中学校との接続の観点から必要最低限の内容と、それを活用して行う言語活動を中心に扱う。
- ◆小学校中学年
  - ・新たに年間15単位時間を確保し、外国語活動を実施する。高学年との接続の観点から必要最低限の内容と、それを活用して行う言語活動を中心に扱う。
  - ※年間総授業時数及び総合的な学習の時間の授業時数から15単位時間を超えない範囲内の授業時数を減じることができる。

# 文部科学省作成 新学習指導要領対応 外国語教材 “We Can!” (小学校高学年用)

## “We Can!” (小学校高学年用)のポイント

- 各ユニットでは「聞くこと」「話すこと」からスタートし、**音声に十分慣れ親しんだ後に、「読むこと」「書くこと」の言語活動に取り組むという構成**
- 「聞くこと」「話すこと」を中心とした中学年における**外国語活動の学習内容を繰り返し活用しつつ、広がりのある話題を設定**  
(例)行ってみたい国や地域 (“We Can! 1” Unit 6)、オリンピック・パラリンピック (“We Can! 2” Unit 6)
- 「読むこと」「書くこと」に対応したコーナー(‘Let’s Read and watch’ ‘Story Time’)を設置
- 中学校への接続を重視し、より豊かなコミュニケーションとなるよう、**代名詞(三人称)、動名詞、過去形などを含む基本的な表現に繰り返し触れるよう工夫**

## “We Can!” (小学校高学年用)の配布について

- 各自治体にデータで共有(9月中)した後に、**今年度中に各学校に冊子化した中学年用教材、We Can!(高学年用)を配布**
- 新教材に加え、言語活動の充実が図られるよう**「デジタル教材」や「ワークシート」を開発**(今年度中に配布)
- このほか、教師用指導書、学習指導案、年間指導計画例、活動例案、研修ガイドブックも作成し、**授業準備を支援**



**【Let's Play】★**

英語の音声を繰り返し聞いたり言ったりして、段階的に使えるようにする。

聞くこと、話すことの  
言語活動

**【Let's Chant】★**

設定された表現について、英語のリズムやイントネーションに自然に慣れ親しむ。ほかに、【Let's Sing】もある。

聞くこと、話すことの  
言語活動



夏休み明けの授業で、夏休みを題材に取り上げ、行ったところや食べたもの、楽しかったことなどを伝え合う中で、過去形の表現を扱う。

過去形を含む  
基本的な表現を活用

<児童の発話例>

I went to the sea.  
I saw starfish. It was fun

★短時間学習で扱うことも可能

**Let's Listen** 1 夏休みの思い出について聞いて、登場人物と思い出を線で結ぼう。

fireworks      camping

zoo      fishing

登場人物: Kosei, Hana, Aoi

**Let's Listen** 2 登場人物が夏休みにどんなことをしたのかを聞いて、線で結ぼう。

登場人物: Saki, Satoshi, Kenta

fun      exciting      cool      delicious

**Let's Watch and Think** 映像を見て、登場人物が夏休みに行ったところや、したことなどを書こう。

Mark

●行ったところ
●したこと
●その他

John

●行ったところ
●したこと
●その他

**【Let's Listen】★**

英語の音声を聞いて、その概要を捉えたり必要な情報を聞き取ったり、質問に答えたりする。

聞くこと、話すことの  
言語活動

<児童が聞く英語の例>

Hello, everyone! I'm Mark. I'm in America. We have a long summer vacation from June to August. I went to the mountains this summer vacation. It was beautiful. I enjoyed camping. It was fun. I ate a hot dog. It was delicious.

**【Let's Watch and Think】**

映像を見ながら英語でまとまりのある話を聞き、英語の意味を推測したり話の概要を捉えたりする。また、聞き取った内容に関する質問に答える。

聞くこと、話すことの  
言語活動

★短時間学習で扱うことも可能

**Let's Watch and Think** 映像を見て、登場人物が夏休みにしたことなどを表に書こう。

名前	 Mark	 Emma	 Kosei
したこと			
感想			

**Let's Listen** 登場人物が夏休みにどこに行ったのかを聞いて、線で結ぼう。










**Let's Read and Watch** 夏休みの日記を読み、映像を見て、内容を確認しよう。また、その内容に合う絵を選ぼう。

My Summer Vacation

Date: August 12th

I went to the sea.

I enjoyed swimming.

I ate fresh fish.

It was fun.

A




B




C




**【Let's Read and Watch】**

これまでに聞いたり言ったりして音声で十分に慣れ親しんだ表現が書かれたものを読んで、その内容を捉える。

読むことに関する  
言語活動

動名詞を含む  
基本的な表現を活用

(Sounds and Letters) r: rice, river

ページ下部に、活字体の小文字とその文字で始まったり、含んだりする語のイラストを掲載している(a~z)。それぞれ文字の音と、その音から始まる英語に慣れ親しむ。

日本語と英語の音声の違い

**【Activity】**

本単元で学習した表現や既習の表現などを使って、友達と自分の思いや考えを伝え合ってコミュニケーションする。

聞くこと、話すことの  
言語活動

<児童の発話例>

A : I went to the department store. I enjoyed shopping. I ate ice cream. It was delicious.

B : I went to the mountains. I enjoyed hiking. I ate a rice ball. It was fun.

**【STORY TIME】**

英語の自然な音声を繰り返し聞き、その意味を絵を手掛かりに推測したり、文字と結び付けたり、単語や文、語順などの認識を深めたりする。また、同じ韻を踏む単語を続けて聞くことで、文字と発音の関係に気付く。

文字や単語などの認識

読むことに慣れ親しむ

**【Let's Read and Write】**

ワークシートに、語順を意識しながら、音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、友達が書いた文を読んだりする。

読むこと、書くこと  
の言語活動

Unit 5

Activity 夏休みの思い出を伝え合い、来年の夏休みにいっしょに過ごしたいと思う友だちを増やそう。

Let's Read and Write 夏休みの思い出を紹介する文を書いて、書いてみよう。

STORY TIME

My family went to the sea this summer.  
I saw some sea shells, starfish and jellyfish.  
We had a nice dish of fish.  
It was delicious.  
A delicious dish of fish.

40 41

# 小学校外国語教育に係る新教材の整備等 実施スケジュール

平成29年9月版

3～6年  
共通

年間指導計画例案  
(6月公表)

活動例案  
(6月公表)



研修ガイドブック  
(7月公表)

※公表はデータの共有により行う。

5・6年

今回公表



3・4年



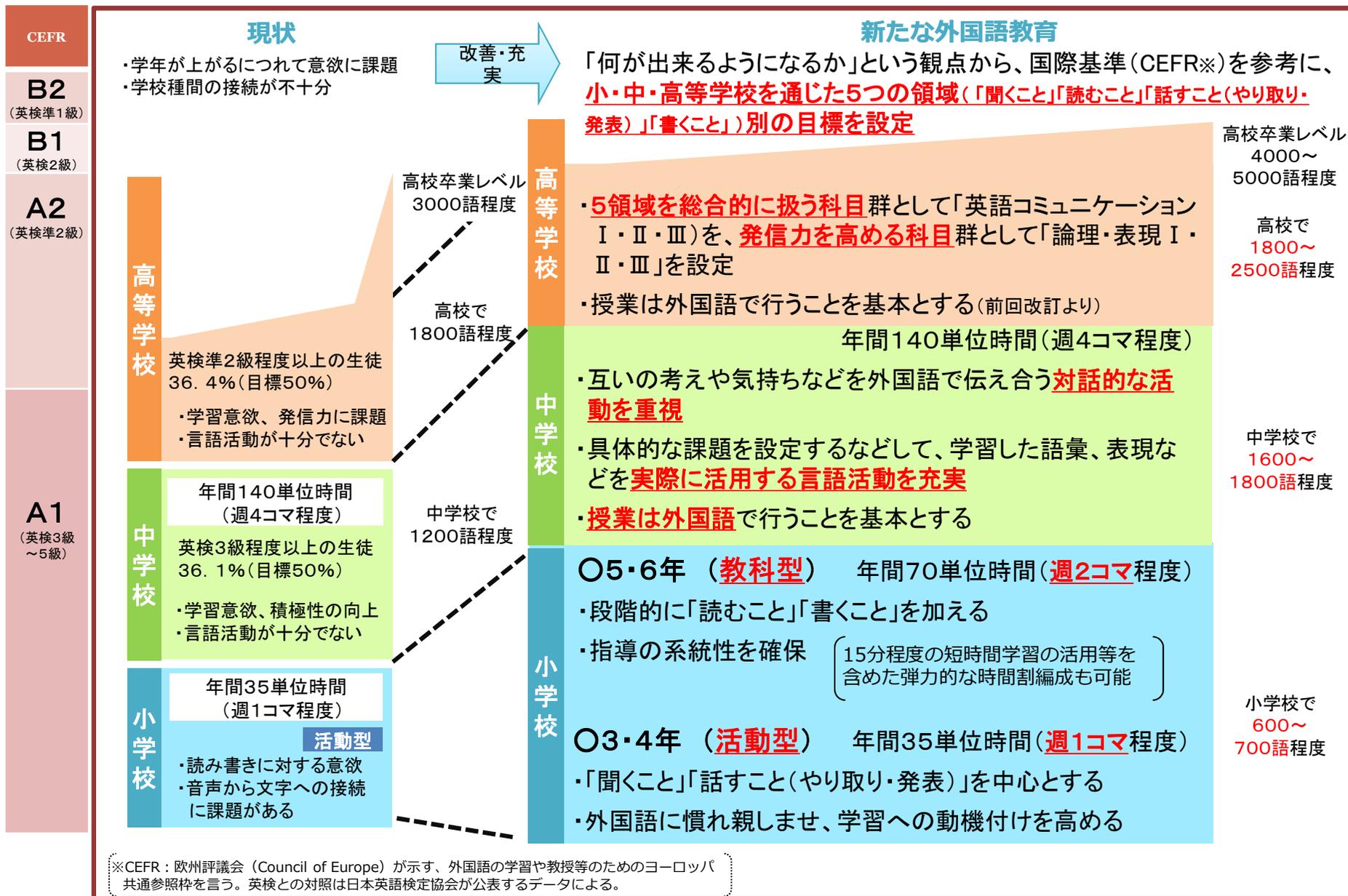
9月21日(木) 新教材説明会 (於:五反田TOC)

模擬授業を取り入れながら、新教材の活用法等を周知。YouTubeで配信。

年度内 3～6年の児童用冊子・教師用指導書・デジタル教材を希望する全ての学校に配布

移行措置・先行実施対応

# 外国語教育の抜本的強化のイメージ



## 【小学校】

### ◆小学校移行期間(平成30・31年度)中の5・6年生

- ・新たに年間15単位時間を加え、50単位時間を確保し、**外国語活動**の内容に加えて、**外国語科**の内容を扱う。外国語科の内容については、**中学校との接続**の観点から**最低限必要な内容と、それを活用して行う言語活動**を中心に扱う。
- ・教材は、Hi, friends!(**現行学習指導要領に対応した5・6年生外国語活動用教材**)や、現在文部科学省が開発している**新学習指導要領に対応した教材**から、必要な内容を配布する。

### ◆小学校移行期間(平成30・31年度)中の3・4年生

- ・新たに年間15単位時間を確保し、**外国語活動**を実施する。**高学年との接続**の観点から**最低限必要な内容と、それを活用して行う言語活動**を中心に扱う。
- ・教材は、現在文部科学省が開発している**新学習指導要領に対応した教材**から、必要な内容を配布する。

## 【中学校】

### ◆中学校移行期間(平成30～32年度)のうち、平成31・32年度の1・2年生

- ・授業**時数は追加せず**、**小・高等学校との接続**の観点から、知識・技能について**新たに追加した内容と、それを活用して行う言語活動**を計画的に指導する。

**〈授業時数の特例〉**  
 ◆外国語活動の授業時数の授業の実施のために特に必要がある場合には、**年間総授業時数及び総合的な学習の時間の授業時数から15単位時間を超えない範囲内の授業時数を減じること**ができることとする。

**〈評価〉**  
 ◆移行期間中における学習評価は移行期間に追加して指導する部分を含め、現行学習指導要領の下の評価規準等に基づき行う。

**(外国語活動に係る指導要録の取扱い)**  
 ・第3学年及び第4学年における指導要録の取扱いは、**総合所見及び指導上参考となる諸事項を記録する欄**に児童の学習状況における**顕著な事項**を記入する。  
 ・第5学年及び第6学年における指導要録の取扱いは、**外国語活動の記録の欄**に**文章で記述する**。(現在の取扱いと同様)

	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度
					小学校全面实施	
		※平成29年度中に必要な教材を配布	※平成30年度中に必要な教材を配布		中学校全面实施	
平成17年度生まれ～	小6(35)	中1	中2	中3	高1	高2
平成18年度生まれ～	小5(35)	小6(+15 → 50)	中1	中2	中3	高1
平成19年度生まれ～	小4	小5(+15 → 50)	小6(+15 → 50)	中1	中2	中3
平成20年度生まれ～	小3	小4(+15)	小5(+15 → 50)	小6(70)	中1	中2
平成21年度生まれ～	小2	小3(+15)	小4(+15)	小5(70)	小6(70)	中1
平成22年度生まれ～	小1	小2	小3(+15)	小4(35)	小5(70)	小6(70)
平成23年度生まれ～	年長	小1	小2	小3(35)	小4(35)	小5(70)

※生まれ年度はイメージとして示している。 ※中学校の時数は現行と同様、年間140単位時間程度。

…外国語活動移行措置    …外国語科移行措置    …中学校移行措置

# 小学校の新たな外国語教育における新教材(3年生)年間指導計画例案 イメージ

移行措置期間中に行う主な活動

小学校3年生の外国語活動 年間35単位時間

で囲んだ部分が移行措置で扱う主な内容(15単位時間相当)

	題材	主な表現例	目標例	
1	世界の言語	Hello. I'm (name). Goodbye. See you. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界には様々な言語があることを知り、挨拶や名前の言い方に慣れ親しむ。</li> <li>名前を言って挨拶をし合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、名前を言って挨拶を交わそうとする。</li> </ul>	世界には様々な言語があることを知り、自分の名前を言って挨拶をする。
				様々な言語があることに気付く
2	様子・感情	How are you? I'm happy. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>表情やジェスチャーの大切さとともに表す意味の違いに気付き、感情や状態を表す語や表現に慣れ親しむ。</li> <li>表情やジェスチャーを工夫しながら挨拶をし合う。</li> <li>表情やジェスチャーを付けて相手に伝わるように工夫しながら、挨拶をしようとする。</li> </ul>	
3	数・身の回りの物	How many apples? Ten (apples). Yes. That's right. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本と外国の数の数え方の違いから、多様な考え方があることに気付き、1から20までの数の言い方や数の尋ね方に慣れ親しむ。</li> <li>数を尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、数を尋ねたり答えたりしようとする。</li> </ul>	
4	好きな色 好きな物	I like blue. Do you like blue? Yes, I do./No, I don't. I don't like blue. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>多様な考え方があることや、音声やリズムについて外来語を通して日本語と英語の違いに気付き、色の言い方や、好みを表したり好きかどうかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>自分の好みを伝え合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、自分の好みを紹介しようとする。</li> </ul>	日本語(外来語)と英語の音声やリズムの違いに気付く。好きかどうかを尋ねたり答えたりする。
				日本語との音声の違いに気付く
				英語の表現に慣れ親しむ
5	好きな物 食べ物・果物・スポーツ	I like tennis. What do you like? What sport do you like? ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と英語の音声の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりしようとする。</li> </ul>	
6	アルファベットの大文字	Card "A", please. Here you are. Thank you. You're welcome. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、活字体の大文字とその読み方に慣れ親しむ。</li> <li>自分の姓名の頭文字を伝え合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、自分の姓名の頭文字を伝えようとする。</li> </ul>	身の回りからアルファベットの大文字を見つけ。大文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。
				文字の読み方に慣れ親しむ
7	色や形	What do you want? A star, please. Here you are. This is for you. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と英語の音声の違いに気付き、形の言い方や、欲しいものを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>欲しいものを尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、欲しいものを紹介しようとする。</li> </ul>	
8	身の回りの物	What's this? Hint, please. It's (a fruit). It's (green). It's a (melon).	<ul style="list-style-type: none"> <li>外来語とそれが由来する英語の違いに気付き、身の回りの物の言い方や、ある物が何かを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>クイズを出したり答えたりし合う。</li> <li>相手に伝わるように工夫しながら、クイズを出したり答えたりしようとする。</li> </ul>	外来語と由来する英語の音声やリズムの違いに気付く。クイズを通して2往復以上のやり取りを経験する。
				日本語との言葉の成り立ちの違いに気付く
				2往復以上のやり取りを経験する
9	人・動物	Are you a dog? Yes, I am. I'm a dog. Who are you? ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、誰かと尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>絵本などの短い話を聞いて、おおよその内容が分かる。</li> <li>絵本などの短い話を反応しながら聞くとともに、相手に伝わるように台詞をまねて言おうとする。</li> </ul>	絵本などを使って、まとまりのある話を聞いて、おおよその内容が分かる。
				まとまりのある話を聞いて分かる

※目標例は、9月21日新教材説明会配付資料をもとに作成。今後の検討の過程で修正する可能性がある。

# 小学校の新たな外国語教育における新教材(4年生)年間指導計画例案 イメージ

移行措置期間中に行う主な活動

小学校4年生の外国語活動 年間35単位時間

で囲んだ部分が移行措置で扱う主な内容(15単位時間相当)

	題材	主な表現例	目標例	
1	世界の色々な挨拶の仕方	Hello. Good morning/afternoon. Nice to meet you. I like strawberries. Goodbye. See you. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>様々な挨拶の仕方があることに気付くとともに、様々な挨拶の言い方に慣れ親しむ。</li> <li>友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合う。</li> <li>相手に配慮しながら、友達と挨拶をして、自分の好みなどを伝え合おうとする。</li> </ul>	
2	天気と遊び	How's the weather? It's sunny. Let's play cards. Yes, let's. / Sorry. Please stand up. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本の遊びの共通点と相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、<b>様々な動作、遊びや天気の言い方、遊びに誘う表現に慣れ親しむ。</b></li> <li>好きな遊びについて尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に配慮しながら、友達を自分の好きな遊びに誘おうとする。</li> </ul>	様々な動作を表す語を聞いたり言ったりして慣れ親しむ。
				様々な動作を表す語に慣れ親しむ
3	好きな曜日	What day is it? It's Monday. I like Monday. Do you like Monday? ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の同年代の子供たちの生活を知るとともに、曜日の言い方や曜日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>自分の好きな曜日について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に配慮しながら、自分の好きな曜日を伝え合おうとする。</li> </ul>	
4	時刻	What time is it? It's 8:30. It's homework time. How about you? ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界の国や地域によって時刻が異なることに気付くとともに、時刻や生活時間の言い方や尋ね方に慣れ親しむ。</li> <li>自分の好きな時間について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</li> <li>相手に配慮しながら、自分の好きな時間について伝え合おうとする。</li> </ul>	
5	持ち物・文房具	Do you have a pen? Yes, I do./No, I don't. I have / don't have a pen. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>文房具などの学校で使う物や、持ち物を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。</li> <li><b>文房具など学校で使う物について、尋ねたり答えたりして伝え合う。</b></li> <li>相手に配慮しながら、文房具など学校で使う物について伝え合おうとする。</li> </ul>	文房具などの持ち物について、2往復以上のやり取りをしながら尋ねたり答えたりする。
				2往復以上のやり取りを行う
6	アルファベットの小文字	Look. What's this? Hint, please. How many letters? I have six. Do you have ~? ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りには活字体の文字で表されているものがあることに気付き、<b>活字体の小文字とその読み方に慣れ親しむ。</b></li> <li>身の回りにあるアルファベットの文字クイズを出したり答えたりする。</li> <li>相手に配慮しながら、アルファベットの文字について伝え合おうとする。</li> </ul>	身の回りからアルファベットの小文字を見つけて、小文字を識別し、その読み方に慣れ親しむ。
				文字の読み方に慣れ親しむ
7	食事・食べ物	What do you want? I want potatoes, please. How many? Two, please. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>食材の言い方や、欲しい物を尋ねたり要求したりする表現に慣れ親しむ。</li> <li>欲しい食材などを尋ねたり要求したりするとともに、考えたメニューを紹介し合う。</li> <li>相手に配慮しながら、自分のオリジナルメニューを紹介しようとする。</li> </ul>	
8	学校・教室	This is my favorite place. Why? I like music. Go straight. Turn right/left. Stop.	<ul style="list-style-type: none"> <li>世界と日本の学校生活の共通点や相違点を通して、多様な考え方があることに気付くとともに、教科名や教室名の言い方に慣れ親しむ。</li> <li><b>自分が気に入っている校内の場所に案内したり、その場所について伝え合ったりする。</b></li> <li>相手に配慮しながら、自分が気に入っている場所について伝え合おうとする。</li> </ul>	様々な動作を表す語を使って、校内の気に入っている場所を案内する。
				様々な動作を表す語を使って道案内する
9	日課	I wake up( go to school / go home / take a bath ) at 6:00.	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本語と英語の音声やリズムなどの違いに気付き、日課を表す表現に慣れ親しむ。</li> <li><b>絵本などの短い話を聞いて反応したり、おおよその内容が分かたりする。</b></li> <li>相手に配慮しながら、絵本などの短い話を聞いて反応しようとする。</li> </ul>	絵本などを使って、まとまりのある話を聞いて、おおよその内容が分かる。
				まとまりのある話を聞いて分かる

※目標例は、9月21日新教材説明会配付資料をもとに作成。今後の検討の過程で修正する可能性がある。

# 小学校の新たな外国語教育における新教材(5年生)年間指導計画例案 イメージ

移行措置期間中に行う主な活動

小学校5年生の外国語 年間70単位時間

移行期間中の年間50単位時間のうち、赤字がHi, friends! の内容に加えて扱う外国語科の主な内容

題材	主な表現例	目標例
1 アルファベット・自己紹介	Hello, I'm (Saki). Nice to meet you. My name is (Kosei). How do you spell your name? K-O-S-E-I. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きなもの、欲しいものなどを聞いたり言ったりすることができる。また、<b>活字体の大文字を識別し、読む</b>(発音する)ことができる。</li> <li>自己紹介を聞いて分かったり、好きなものや欲しいものなどを伝え合ったりする。</li> <li>他者に配慮しながら、簡単な自己紹介をしようとする。</li> </ul>
2 行事・誕生日	When is your birthday? My birthday is (August 19th). What (sport) do you like?...	<ul style="list-style-type: none"> <li>誕生日について聞いたり言ったりすることができる。また、<b>活字体の大文字を書く</b>ことができる。</li> <li>祭りや行事に関するまとまりのある話を聞いて分かったり、誕生日や欲しいもの、好きなものなどを伝え合ったりする。</li> <li>他者に配慮しながら、好みや欲しいもの、誕生日について伝え合おうとする。</li> </ul>
英語の文字の認識を深める		
3 学校生活・教科・職業	Do you have (P.E.) on (Monday)? Yes, I do. / No, I don't. What do you have on (Monday)? I study (math). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>教科について聞いたり言ったりすることができる。また、<b>活字体の小文字を識別し、読む</b>ことができる。</li> <li>学校生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、時間割について伝え合ったりする。</li> <li>他者に配慮しながら、時間割やそれについて自分の考えなどを伝え合おうとする。</li> </ul>
4 一日の生活	What time do you (get up)? I (usually) (get up) at (7:00). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の生活について聞いたり言ったりすることができる。また、<b>活字体の小文字を書く</b>ことができる。</li> <li>一日の生活に関するまとまりのある話を聞いておおよその内容を捉えたり、一日の生活について伝え合ったりする。</li> <li>他者に配慮しながら、自分の一日の生活について伝え合おうとする。</li> </ul>
5 できること	Can you (sing well)? Yes, I can. / No, I can't. [I /You/He/She] [can / can't] (sing well). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分や第三者について、できることやできないことを聞いたり言ったりすることができる。また、<b>文字には音があることに気付く</b>。</li> <li><b>自分や第三者について、できることやできないことを、考えや気持ちも含めて伝え合う</b>。</li> <li>他者に配慮しながら、自分や第三者についてできることやできないことなどを紹介し合おうとする。</li> </ul>
文字の音に気付く		
第三者を紹介する		
6 行ってみたい国や地域	Where do you want to go? I want to go to (Italy). Why? I want to [see / go to / visit] (the Colosseum). I want to eat (pizza). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>国名や行きたい場所について、聞いたり言ったりすることができる。また、それらを書き写すことができる。</li> <li>行きたい国や地域について理由も含めて伝え合う。</li> <li>他者に配慮しながら、行きたい国や地域について説明したり、自分の考えを整理して伝え合おうとする。</li> </ul>
7 位置と場所	Where is the treasure? Go straight (for three blocks). Turn [right / left] (the third corner). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>物の位置を尋ねたり答えたりする表現を、聞いたり言ったりすることができる。また、<b>簡単な語句を書き写す</b>ことができる。</li> <li>道案内で、場所を尋ねたり答えたり、<b>簡単な語句を推測しながら読み</b>たりする。</li> <li>他者に配慮しながら、場所を尋ねたり道案内をしりしようとする。</li> </ul>
文字の音に慣れ親しむ		
簡単な語句を読みたり書き写したりする		
8 料理・値段	What would you like? I'd like (spaghetti). It's for (my brother). How much? It's (970 yen). Here ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>家族の呼称や、丁寧に注文や値段を尋ねたり答えたりする表現を聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句を書き写すことができる。</li> <li><b>丁寧に注文を尋ねたり答えたり</b>して、自分の考えを伝え合ったり、簡単な語句を推測しながら読みたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、<b>丁寧に注文を尋ねたり答えたり</b>、メニューについてまとまりのある話を聞いたり、感想を伝え合ったりしようとする。</li> </ul>
丁寧な表現を使って依頼したり応じたりする		
9 あこがれの人物	Who is your hero? This is my hero. [He/ She] is good at (playing tennis). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>得意なことについて、聞いたり言ったりすることができる。また、簡単な語句や表現を書き写すことができる。</li> <li>憧れたり尊敬したりする人について、<b>自分の考えや気持ちも含めて伝え合う</b>。</li> <li>他者に配慮しながら、自分があこがれたり尊敬したりする人について、自分の意見を含めて紹介し合おうとする。</li> </ul>
その場で考えながらやり取りをする		

活字体の大文字・小文字を識別し、読みたり書いたりする。

アルファベットの文字には音があることに気付いたり、第三者についてできることやできないことなどを紹介したりする。

アルファベットの文字の音に慣れ親しむ。道案内で簡単な語句を推測して読みたり書き写したりする。

丁寧な表現を使って、注文や値段を尋ねたり答えたりする。

あこがれたり尊敬したりする人について伝え合い、その場で考えながらやり取りする。

※目標例は、9月21日新教材説明会配付資料をもとに作成。今後の検討の過程で修正する可能性がある。

# 小学校の新たな外国語教育における新教材(6年生)年間指導計画例案 イメージ

移行措置期間中に行う主な活動

小学校6年生の外国語 年間70単位時間

移行期間中の年間50単位時間のうち、赤字がHi, friends! の内容に加えて扱う外国語科の主な内容

	題材	主な表現例	目標例	
1	自己紹介	I'm from (Shizuoka). I like (soccer). I can (play soccer well). I am good at (swimming). My birthday is ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>自己紹介に関する表現や好きなこと、できることなどを聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>自己紹介で自分の好きなことやできることなどについて伝え合う。</li> <li>他者に配慮しながら、好きなことやできることなどについて伝え合おうとする。</li> </ul>	好きなことやできることなどを含めた自己紹介をしたり、それを聞いて概要を捉えたりする。
		まとまりのある話を聞いて意味を理解する		
2	日本の文化	Welcome to Japan. In (summer), we have (fireworks festival). ....	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の行事や食べ物などについて、聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>日本の行事や食べ物や、自分が好きな日本文化について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、日本文化について伝え合おうとする。</li> </ul>	
3	人物紹介	I am (Ken). I [like / play] [the violin / baseball]. I [have / want] a new ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>「主語＋動詞＋目的語」の文の語順に気付き、自分や第三者について聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、第三者について伝え合おうとする。</li> </ul>	語順を意識して、自分やある人について紹介したり、例を参考に紹介する文を書いたりする。
		語順や日本語との語順の違いに気付く		
4	自分たちの町・地域	We have /don't have (a park). We can (see many flowers). We can enjoy [fishing / shopping]. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域にどのような施設があるのか、また欲しいのか、さらに地域のよさなどを聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>地域のよさや課題などについて自分の考えや気持ちを伝え合ったり、地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</li> <li>地域のよさなどについて、伝え合おうとする。</li> </ul>	地域のよさや願いについて例を参考に語順を意識しながら書いたりする。
		語順や語と語の区切りに注意して書き写す		
5	夏休みの思い出	I went to (my grandparents' house). I enjoyed (fishing). I saw (the blue sea). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などを聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>夏休みに行った場所や食べた物、楽しんだこと、感想などについて伝え合う。また、夏休みの思い出について簡単な語句や基本的な表現を推測しながら読んだり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、夏休みの思い出について伝え合おうとする。</li> </ul>	夏休みに行った場所や食べ物、楽しんだこと、感想などを伝え合う。
		過去の表し方を知り、過去のことを伝え合う		
6	オリンピック・パラリンピック	What do you want to watch? I want to watch (wheelchair basketball). I like basketball. ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>国名や競技名等について、聞いたり読んだりすることができる。</li> <li>オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合う。</li> <li>他者に配慮しながら、オリンピック・パラリンピックで見た競技とその理由などについて伝え合おうとする。</li> </ul>	
7	小学校生活・思い出	What's your best memory? My best memory is from (sports festival). We enjoyed (winning)....	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事について、聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、思い出の学校行事について伝え合おうとする。</li> </ul>	小学校生活を振り返って、思い出の学校行事について伝え合ったり、例を参考に語順を意識しながら書いたりする。
		過去のことを伝え合う		
8	将来の夢・職業	What do you want to be? I like (animals). I want to be a (vet). I can (play the piano well). ...	<ul style="list-style-type: none"> <li>将来就きたい職業などについて、聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>将来就きたい職業やしたいこと、その理由などを伝え合う。また、将来の夢について簡単な語句や基本的な表現で書かれた英語を推測しながら読んだり、例を参考に語と語の区切りに注意しながら書いたりする。</li> <li>他者に配慮しながら、将来の夢について伝え合おうとする。</li> </ul>	
9	中学校生活・部活動	I like (basketball). I want to join the (basketball team).	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学校の部活動や学校行事などについて、聞いたり言ったりすることができる。</li> <li>中学校の部活動や学校行事などについて伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。</li> <li>他者に配慮しながら、中学校生活について伝え合おうとする。</li> </ul>	中学校でやってみたいことを伝え合ったり、中学校生活について書かれている英語を推測しながら読んだりする。
		中学校でやりたいことを伝え合う		

※目標例は、9月21日新教材説明会配付資料をもとに作成。今後の検討の過程で修正する可能性がある。